

所属	看護医療学部 臨床検査学科	職位	教授	氏名(学 位)	森 啓至 (博士(医学))	
所属学会	日本生理学会、日本神経科学会、日本医学教育学会、日本臨床検査学教育協議会					
専門領域	生理学 神経科学					
研究テーマ	アルツハイマー型認知症と嗅覚異常の関連 (動物実験を中心に) マウス膝関節軟骨変性の機序解明と進行予防について					
I 主な教育活動						
教育実践上の主な実績						
1 教育・内容の工夫(授業評価等を含む)	zoomを使用した on line での遠隔講義と対面講義のハイブリッド方式を取り入れた講義を行うなど、新型コロナウイルス感染症が蔓延する状況に対応した講義を行った。					
2 作成した教科書、教材、参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法から診る廃用症候群 ・実学としての理学療法外観 ・医学領域における臨床検査学入門 改訂版第2版 ・医学領域における臨床検査学入門 追補(13,16,17,) 					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育上特記すべき事項	日本生理学会 生理学エドゥケーター認定(2021年1月~2026年12月) 金城大学医療健康学部での講義・実習が優秀であると評価され「2013年度金城大学優秀教員表彰」受賞					
II 主な研究活動						
種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌(および巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	頁数
著書	理学療法から診る廃用症候群	共著	2014年5月	文光堂	編集: 奈良勲、神戸晃男、山崎俊明、木林勉、著者: 森啓至、他	12-23 頁
著書	実学としての理学療法外観	共著	2015年11月	文光堂	編集主幹: 奈良勲 著者: 奈良勲、木林勉、森山英樹、森 啓至他	45-58 頁
学術論文(総説)	Effect of peripherally administrered lipopolysaccharide (LPS) on GTP cyclohydrolase I, tetrahydrobiopterin and norepinephrine in the locus coeruleus in mice.	共著	2007年6月	Stress 10 巻2号	Akira Ota, Yoko S Kaneko, <u>Keiji Mori</u> , Akira Nakashima, kuko Nagatsu, Toshiharu Nagatsu	131-136 頁
学術論文(総説)	Peripheral lipopolysaccharide administration affects the olfactory dopamine system in mice.	共著	2008年12月	Annals of the New York Academy of Sciences 1148 巻	Akira Ota, <u>Keiji Mori</u> , Yoko S Kaneko Toshiharu Nagatsu 他	127-135 頁
学術論文(総説)	Subventricular Zone under the Neuroinflammatory Stress and Parkinson' s Disease	共著	2012年4月	Cell. Mol. Neurobiol. 32 巻5号	<u>Keiji Mori</u> , Yoko S Kaneko, Akira Nakashima, Toshiharu Nagatsu 他	777-785 頁
学術論文(原著)	Peripherally injected lipopolysaccharide induces apoptosis in the subventricular zone of young adult mice.	共著	2010年9月	Neurosci. Lett. 481 巻2号	<u>Keiji Mori</u> , Yoko S Kaneko, Akira Nakashima, Toshiharu Nagatsu 他	126-130 頁

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
学術論文 (原著)	Regulation of oxidative stress in long-lived lipopolysaccharide-activated microglia.	共著	2012年7月	Clin Exp Pharmacol Physiol. 39巻7号	Yoko S Kaneko, Akira Ota, Akira Nakashima, Keiji Mori, Ikuko Nagatsu, Toshiharu Nagatsu	599-607頁
学術論文 (原著)	Effects of aripiprazole and clozapine on the treatment of glycolytic carbon in PC12 cells.	共著	2012年11月	J. Neural Transm. 119巻11号	Akira Ota, Akira Nakashima, Yoko S Kaneko, Keiji Mori 他	1139-1153頁
学術論文 (原著)	Intracellular stability of tyrosine hydroxylase: phosphorylation and proteasomal digestion of the enzyme.	共著	2013年1月	Adv Pharmacol. 68巻	Akira Nakashima, Yoko S Kaneko, Yu Kodani, Keiji Mori 他	3-11頁
学術論文 (原著)	Lipopolysaccharide treatment arrests the cell cycle of BV-2 microglial cells in G1 phase and protects them from UV light-induced apoptosis.	共著	2014年2月	J Neural Transm. 122巻2号	Kaneko YS, Ota A, Nakashima A, Nagasaki H, Kodani Y, Mori K, Nagatsu T.	187-199頁
学術論文 (原著)	Aripiprazole increases NAD(P)H-quinone oxidoreductase-1 and heme oxygenase-1 in PC12 cells	共著	2014年6月	J Neural Transm. 122巻6号	Yoko S Kaneko, Takeshi Takayanagi, Hiroshi Nagasaki, Akira Nakashima, Keiji Mori 他	757-772頁
紀要	学生の OSCE に対する意識と臨床実習成績の関係	共著	2017年3月	金城大学紀要第17号	河野光伸、吉武将司、森 啓至 他	185-192頁
紀要	膝関節拘縮モデルに対する寒冷刺激効果の基礎的検討	共著	2020年3月	金城大学紀要第20号（研究ノート）	森 啓至、中川拓也、小島 聖	139-143頁

III 主な学会活動

発表(報告)名等	単独 共同	発表年月	学会名等
PC12 細胞内 Nrf2 活性に対するアリピプラゾールの作用	共同	2015年9月	第45回日本神経精神薬理学会
関節拘縮後の関節軟骨に対する寒冷浴の効果	共同	2018年12月	第6回日本運動器理学療法学会大会
DMM と ACLT の複合によるマウス変形性膝関節モデルの作成	共同	2018年12月	第6回日本運動器理学療法学会大会
大腿神経損傷が変形性膝関節症モデルの軟骨変性に及ぼす影響	共同	2019年11月	第24回日本基礎理学療法学会学会大会

IV 社会における主な活動

活動期間	活動内容等
2012年4月～2020年3月	藤田医科大学客員教授
2020年4月～現在に至る	藤田医科大学客員教員